

薬のひろば

パーキンソン病ってどんな病気？

1：はじめに

パーキンソン病は脳にある黒質(ドパミンが作られる部位)が変性することによりドパミンの産生が低下し、スムーズに体を動かせなくなる神経変性疾患です。患者数は人口 10 万人に 100～150 人くらいですが、60 歳以上では 10 万人に 1000 人と多くなっています。介護保険制度でも「特定疾患」に指定されています。

2：症状について

おもな運動症状

- ・ **安静時振戦** (手や足が震える)
- ・ **無動** (動作が遅くなる・少なくなる)
- ・ **筋強剛** (筋肉がこわばる、表情が硬くなる)
- ・ **姿勢反射障害** (前かがみになりやすい、転びやすい)

おもな非運動症状

便秘、疲れやすい、排尿障害、うつ・気分の落ち込み など



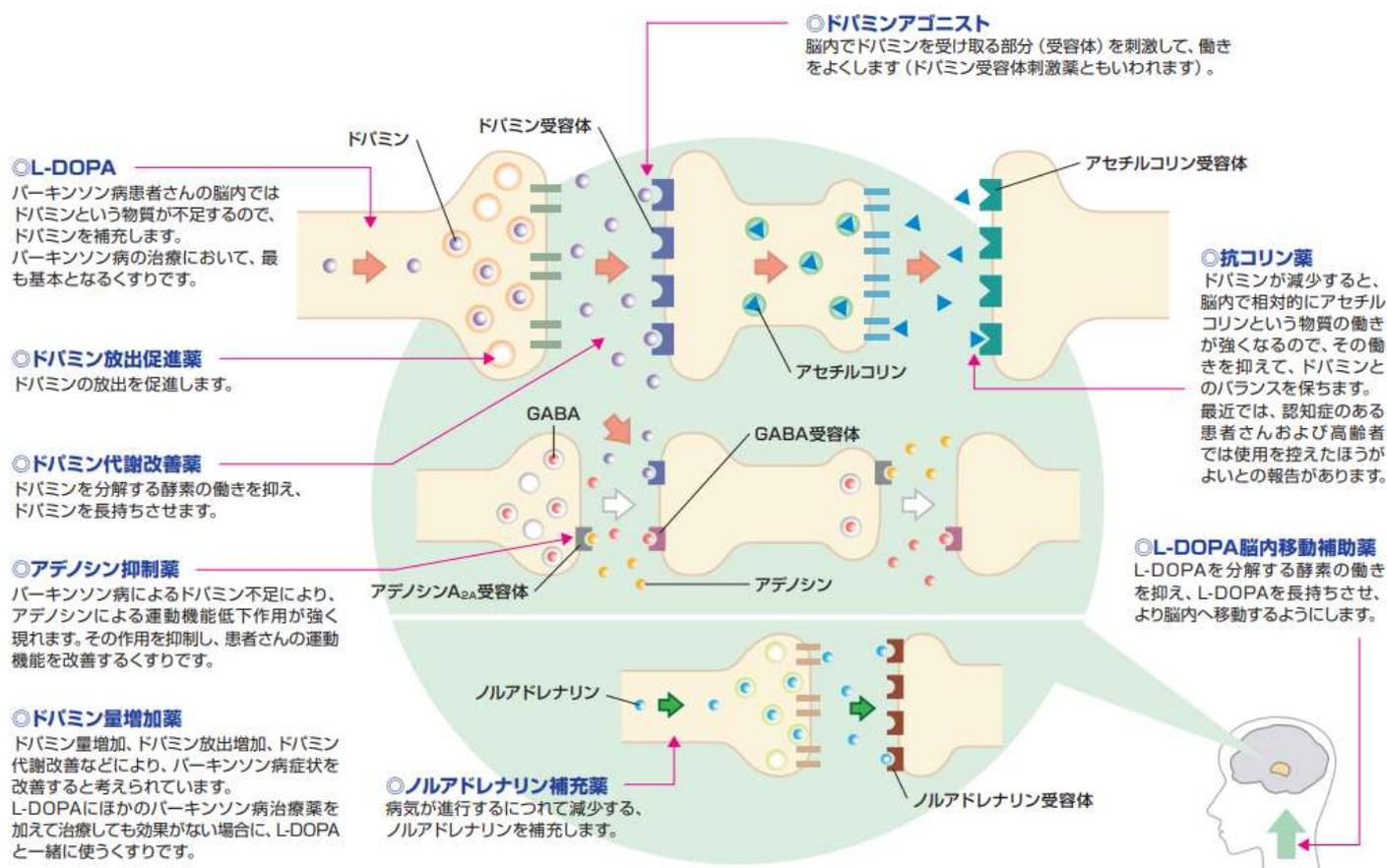
3：治療について

薬物療法や運動療法、手術療法がありますが、不足したドパミンを薬で補う薬物療法が治療の基本です。パーキンソン病の治療に使用される薬剤として 9 種類の薬剤があります。

	主な薬剤
L-DOPA(レボドパ)	スタレボ [®] 配合錠※、デュオドーパ [®] 配合経腸液、ドパコール [®] 配合錠、ドパストン [®] 静注、マドパー [®] 配合錠、メネシット [®] 配合錠など
ドパミン放出促進薬	アマンタジン塩酸塩錠、シンメトレル [®] 錠・細粒
ドパミン代謝改善薬 (MAO-B阻害薬)	アジレクト [®] 錠、エフピー [®] OD錠、セレギリン塩酸塩錠、エクフィナ [®] 錠
アデノシン抑制薬	ノウリアスト [®] 錠
ドパミン量増加薬	トレリーフ [®] 錠
ドパミンアゴニスト	アポカイン [®] 皮下注、カバサール [®] 錠、ニュープロ [®] パッチ、パーロデル [®] 錠、ハルロピ [®] テープ、ピ・シフロール [®] 錠、プラミペキソール錠、ペルマックス [®] 錠、ミラボックス [®] LA錠、レキップ錠・CR錠など
抗コリン薬	アーテン [®] 錠、アキネトン [®] 錠・注など
L-DOPA脳内移動補助薬 (COMT阻害薬)	コムタン [®] 錠、エンタカポン錠、スタレボ [®] 配合錠※、オンジェンティス錠 [®]
ノルアドレナリン補充薬	ドプス [®] 錠など

※スタレボ[®]配合錠はL-DOPA(レボドパ)とL-DOPA脳内移動補助薬 (COMT阻害薬) の合剤です

薬は下記のように作用します。



パーキンソン病の治療期間が長くなると薬の効いている時間が少しずつ短くなっていき、薬の効果が切れて体の動きが悪くなる症状の日内変動（ウェアリングオフ現象）が起こることがあります。また、薬の効果が強めに現れて自分の意思にかかわらず手足や頭、口が動いたりする症状（ジスキネジア）が現れることがあります。薬の選択や投与量の調節などで対処できるので、すぐに主治医に相談してください。

5：さいごに

パーキンソン病だからといって患者さんの行動の多くが制限されるわけではありません。決められた通りに薬を飲むことで、症状が改善されより良い生活が送れるようになります。飲み忘れ、飲み間違いがないようにしましょう。また、薬を自己判断で中止すると高熱、意識障害、筋肉のこわばりなどが起こる可能性があります。薬についてわからないことがあれば医師、薬剤師に相談しましょう。

参考資料：

[パーキンソン病の原因と画像所見パーキンソン病と似た病気での画像所見 | 日本メジフィジックス株式会社 \(nmp.co.jp\)](http://nmp.co.jp)

[パーキンソン病と上手に付き合う2号 \(boehringer-ingelheim.jp\)](http://boehringer-ingelheim.jp)

[ご家族の方へ | パーキンソン病の治療 | パーキンソン病オンライン | 武田薬品工業株式会社 \(pd-online.jp\)](http://pd-online.jp)

病気がみえる vol.7 脳・神経

文責：荒木 礼子(実習生) 杉本 恵理